

棚倉町立学校等統合住民意見交換会

○令和7年7月16日(水) 社川小学校体育館 住民参加者19名

	質問・意見	回答
①	この説明会は統合ありきの説明会なのでしょうか。	今回の説明会は統合を前提とした説明会として開催をしております。
②	昨年度、社川小学校の学校運営協議会委員でしたが、子どもの人数の話はありましたが、統合の話はなかったと記憶しています。また、統合の中に社川小学校が入っているという話は無かったです。	昨年の段階では14年度統合という説明はしておりません。次年度以降に少子化等の背景から統合を前提とした準備を進めたいと説明をさせていただきました。 どこの小学校をとのお話はしていませんが、小学校を統合するというお話をさせていただきました。
③	統合の決定権はどこにあるのでしょうか。	学校の設置や廃止は教育委員会の権限です。それを町の条例で決めなければなりません。その条例を審議する議会の場が最終的な決定の場になります。
④	町議会にはどの程度の情報があるのですか。	統合準備委員会等の情報をその都度議会に報告し、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。
⑤	令和14年度に開校ということで、その前に入学した子どもは開校した年度に新しい学校に移るといったイメージでしょうか。	その通りです。
⑥	幼稚園児数の記載がありますが、保育園児も含めた数でしょうか。	住民基本台帳を基に作成しておりますので、保育園児も含まれております。
⑦	学校毎の推移を見たときに棚倉小と社川小の減少率では社川小学校が落ちていると思いますが、こういった地域差の分析をされているのでしょうか。また、子どもを増やす取組みを町としてやっているのでしょうか。	人口減少等の施策や分析等は教育委員会とは別の部署になります。少子化等を考えると新しい学校の中で、子どもたちに同じ学びを提供することが、教育委員会の役割ではないかと考えています。
⑧	学校の校種についても示した上で意見交換会をするべきではないか。また、使わなくなった校舎の使い道についても同時に検討するべきではないでしょうか。	学校の校種の議論については、今年度中に進めてまいります。廃校後の校舎の利活用については、庁内の検討委員会の協議事項でありますので、そちらで検討を進めていきます。

	質問・意見	回答
⑨	学校は地域の方のいろいろな思いが入っています。14年度統合と示す前にもっと意見を聞くべきではないでしょうか。	教育委員会として少子化等の状況を把握しながら、統合について何の方針も示さないのは出来ないと判断し、昨年度から議論を始め、今日に至っております。
⑩	地区で反対すれば統合はしないのでしょうか。	全地区で説明会を開催しておりますので、ご理解をいただけるよう丁寧に説明をしていきたいと思います。
⑪	校種については今年度中に方向性を示すがありますが、こういった形で決定するのでしょうか。	庁内の検討委員会と統合準備委員会の中で意見交換会の内容等を報告しながら校種等の方向性を決定していきます。
⑫	統合はやむを得ないと感じていますが、意見交換会の参加者が少ないと思います。町民に理解が得られるような取組みをしていただきたいと思います。	情報提供に努めてまいります。
⑬	意見交換会の開催はどのような周知方法で行っているのですか。	マスコミを通してや、行政区回覧による周知、保護者への個別周知、町の公式 SNS での周知をしております。
⑭	新しい校舎を作るにあたっては予算はどう考えているのですか。子どもが減少していく中で、無駄に大きな箱物を作るのは税金の無駄遣いだと思います。そういったことも示したうえで判断したいです。	予算は今後の検討事項になります。
⑯	私自身鮫川村出身で学校の統合を経験しています。当時結局は大人の意見より子どもたちの意見を優先して統合に至った経過があります。今回も地域や大人の意見も大事だと思いますが、当事者である子ども達の意見も大事にして進めていただきたいと思います。	統合の目標は14年度ですので、実際にその頃に在籍する子ども達の意見等を伺えるような機会を検討してすべきかなとは思っています。